

山梨県歯科医師連盟 連盟ニュース

第 26 号

発行 山梨県歯科医師連盟
山梨県甲府市大手1-4-1
TEL 055-252-6481
発行人 内藤敏雄
編集人 守屋直木

山梨県歯科医師連盟機関紙

県議会議員との

「地域歯科保健研究会」

開催される

今にも雪が降り出しそんな空模様の中、2月10日(木)の夕刻、山梨県歯科医師連盟主催による山梨県議会自由民主党歯科保健議員連盟所属議員との地域歯科保健の研究会が開催された。

両宮光昌副理事長の司会のもと、依田竹雄副会長による開会宣言。そして、深沢登志夫歯科保健議員連盟会長・内藤敏雄県連盟会長・三塚憲一県歯会会長による挨拶に続き、出席議員各自による自己紹介が行われ、この後に三塚先生による講演が行われた。

講演は、「当面する歯科の課題と方向性について」であり、その内容は

歯科医療と医療費の関係として歯数が多い者は医療費が低くなる。

行政機関への歯科衛生士の配置の必要性

県民の健康寿命を延ばすために歯・口腔保健条例の制定が必要であり、フッ化物洗口の推進であった。

この後、質疑応答が行われ、丹澤和平議員より、「フッ素洗口については現場の学校の教師の協力が得られていないのが問題であり、この点について歯科医師側から働きかけてほしい」旨の発言があった。そして、秋山成一副理事長による開会の挨拶の後、懇親会へと移行し、各選挙区ごとに更に各種案件について討論がなされ、誠に有意義な研究会となったのであります。

「中巨摩の歯科医療を考える会」開かれる

一瀬理事長 抱負を語る

山梨県歯科医師連盟主催、中巨摩の歯科医療を考える会」が、2月16日(水)午後7時半より、中央市にあるホテルグランヴェルシュ甲府にて開催された。当日は、地元中央市を中心に昭和町・甲府市など周辺から会員・医院スタッフ・歯科業界関係者、更に、地元一瀬明先生の支援者など約60名の人達が集まり、一瀬先生の話を熱心に聞き入った。

両宮副理事長の司会で始まり、依田副会長の開会の言葉があった後、主催者を代表して内藤会長より、一瀬明先生推薦の経緯や、現在の県議会には医療・福祉の専門家がいないこと。更に一瀬先生は、環境問題にも精通していることなども紹介し、「歯科を通して県民の健康増進のため、我々と共に汗を流した同志でもある一瀬先生を当選させなければならない」と訴えた。また、来賓として後藤齊衆議院議員・代理の深澤健吾秘書、一瀬明先生の後援会：明友会代表の長沼辰彦氏(元中央市議)、株式会社ミヤウチ代表取締役社長・宮内啓友氏、ササキ株式会社甲府支店長、向山寿雄氏が紹介され、深澤健吾氏が、一瀬先生勝利に向け全面的に支援していく旨の決意が述べられた。また、明友会代表の長

【一瀬先生連絡書】ありがとうございます

おかげさまで、集まってきました。ご協力ありがとうございました。連絡票はまだまだ受付けておりますので、先生方のご親戚やお知り合いの方で、中央市選挙区(旧玉穂・田富・豊富)にお住まいの方がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。一瀬候補から挨拶状などをお届けする予定です。よろしくお願ひ申し上げます。

沼辰彦氏も、中央市議会で同じ会派で活動したこと、その経験から県議としての一瀬先生に対する期待が述べられた。

その後、本日の講演として一瀬先生が登場し、講演の中で、過去に産廃工場設置反対運動に参加する中で、いかに住民の声が行政に反映されていないと痛感したこと。また、何回も壁に突き当たったが、あきらめることなく活動を続けて最後に目的を達成したことが話され、この活動がその後の自身の政治活動の原点であること。また、何事もあきらめない姿勢を学んだおかげで、これから厳しい選挙戦に臨むが、決してあきらめなければその先には良い結果が出せると話するなど、約20分の講演を行った。矢島連盟中巨摩支部長による「ガンパロー三唱」、角野副会長による「ユーモアたっぷり」の閉会の言葉があり、講演会は終了した。

出席者は、この県議選の意義、一瀬明先生の当選が歯科医師会・歯科医師連盟にとって重要であることをあらためて認識した後援会であった。